



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

Tel 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

創立記念日と開港記念日を祝おう

校長 大谷 珠美

6月を目前に気温が上がってきました。これから、じめじめとした梅雨に入るのかと思うと、少し憂鬱になってしまいそうです。気温が上がると熱中症の心配が出てきます。5月下旬には、熱中症への対応についてのお知らせを出させていただきました。マスクの扱いについてもお知らせしましたが、国や県、市からの通達を受け、学校では体育の時はマスクを外して運動をすることを基本とします。特に、走の運動の時には息も上がり、マスクをしたままだと熱中症のリスクが高くなるといわれています。マスクを外すことに抵抗がある方もいらっしゃると思いますが、その時は、ご相談ください。よろしくお願いいたします。

さて、6月1日は創立149周年です。学校では、150周年に向けて、戸塚小の歴史や町の歴史などを調べ、学習で使える資料集を作成しています。

戸塚小は明治6年6月1日に開校しましたが、実はそれ以前の明治4年8月に神奈川県が「郷学校規則」をつくり、戸塚宿外56か村組合をはじめ、県下27組合に一か所ずつ学校を建設するように呼びかけ、それにこたえる形で明治5年9月13日に公用取調所内に学舎を設けたのが始まりです。当時は、生徒数は45人で、木村伝蔵という人を教師に招き、開校したそうです。その後戸塚小学校は、「富塚学舎」という校名で明治6年6月1日に在校生と72名、戸塚本陣、沢辺九郎右衛門宅で開かれたのが始まりと言われていています。開校当時の日誌が今も残っていますが、その日誌には、出席者の人数や「入舎」「退舎」といった文字が多く、就学率の低さがわかります。また、入舎年齢の中には3歳4か月や10歳8か月といった記述があったり、在学期間も4日間、2週間といたり、様々な子どもが通っていたようです。今とは、全く違う（当たり前ですが）学校の様子ですね。

150年という歴史の長さに、その当時に通っていた人の思いが繋がって、今の戸塚小があるということを見ると、毎日の出来事が次の世代につながっていく大事な一日なのだと感じます。

今、資料集のほかに、マスコットを考えたり、新しい歌を考えたりと、子どもたちが主体的に動きながら150周年をお祝いしようと取り組んでいます。それぞれの進捗状況は、今後皆様にも随時お伝えできるようにしていきますので楽しみにお待ちください。

そして、翌6月2日は、開港記念日です。横浜港は、1859年6月2日に、アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランスの各国と締結した安政五か国条約に基づき開港し1年後の1860年に開港一周年を祝ったのが、開港記念日の始まりと言われていています。今年で163年ですね。学校では、創立と開港記念式を6月1日に行います。

長い歴史に触れ、未来を創っていく子どもたちを共に支え見守っていただけたら嬉しいです。